

ロジックモデル

ロジックモデルとは、政策分野の目標である長期成果（分野アウトカム）を設定した上で、それを達成するために必要となる初期成果（初期アウトカム）や中間成果（中間アウトカム）を設定し、目標達成に至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したものです。

なお、次頁に掲載しているロジックモデルについては、本県の現状に関する参考資料としています。

- ・ 1 脳血管疾患ロジックモデル
- ・ 2 心血管疾患ロジックモデル

脳血管疾患ロジックモデル

*は人口10万人対換算

IV該当箇所	番号	初期アウトカム	初期アウトカム指標	現状値					
				鹿児島県	全国				
1 循環器病 予防の取 組の強化	○循環器病の予防や発症時の対応等に関する普及啓発								
	1	循環器病の予防や発症時の対応等に関する普及活動ができています	1	20歳以上の喫煙者の割合	12.9	R4	16.7	R元	*
			2	禁煙外来を行っている医療機関数	12.9	R2	12.6	R2	*
			3	ニコチン依存管理の実施件数	128.7	R2	131.6	R2	*
			4	健診受診率	76.3	R元	73.3	R元	*
			5	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上の者の割合	13.3		14.9	R元	*
			6	1日当たりの純アルコール摂取量が女性20g以上の者の割合	7.4	R4	9.1		*
			7	高血圧有病者の推定数(予備軍含む)40~74歳男性	237,400	R3	—	—	
			8	高血圧有病者の推定数(予備軍含む)40~74歳女性	199,200		—	—	
			9	収縮期血圧の平均値 40~74歳男性(全国は40歳以上)	127.6	R4	133.9	R元	
			10	収縮期血圧の平均値 40~74歳女性(全国は40歳以上)	122.6		129.0		
			11	糖尿病が強く疑われる者(HbA1c6.5以上)の割合 20歳以上男性	8.5	H29	—	—	
			12	糖尿病が強く疑われる者(HbA1c6.5以上)の割合 20歳以上女性	2.9		—	—	
			13	LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合(40歳以上, 内服加療中の者を含む, 男性)(年齢調整値)	8.1	H29	9.1	R元	
			14	LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合(40歳以上, 内服加療中の者を含む, 女性)(年齢調整値)	8.7		12.3		
			15	20~60歳代男性の肥満者の割合	36.0	R4	32.4	H28	
			16	40~60歳代女性の肥満者の割合	23.6		21.6		
			17	メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の推定数(40~74歳男性)(年齢調整値)	171,000	R2	—	—	
			18	メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の推定数(40~74歳女性)(年齢調整値)	62,000		—	—	
			19	1日当たりの食塩摂取量の平均値	10.2	R4	10.1	R元	
			20	1日当たりの野菜摂取量の平均値	271.4	R4	281	R元	
			21	1日当たりの果物摂取量の平均値	93.3	R4	99	R元	
			22	40歳以上における歯周炎を有する者の割合(年齢調整値)	68.4	R4	56.2	H28	
			23	健康サポート薬局数	21	R5	—	—	
			24	循環器病予防のための啓発活動を行っている市町村の割合	88.6	R4	—	—	
	○特定健康診査, 特定保健指導等の実施率向上に向けた取組								
2	特定健康診査, 特定保健指導等の実施率を向上させる	25	特定健康診査の実施率	52.0	R3	56.5	R3		
		26	特定保健指導の実施率	25.9	R3	24.6	R3		
2 離島・へき地を含 めた循環器 病の医療、 介護及び 福祉等に 係るサー ビスの提 供体制の 充実	○救急医療・救急搬送体制の整備								
	3	心肺停止が疑われる者に対してAEDの使用を含めた救急蘇生法等の適切な処置を実施することができる	27	心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)全搬送人数のうち、一般市民により除細動が実施された件数	0.5	R3	1.4	R3	*
	4	救急救命士を含む救急隊員が、活動プロトコルに則し、適切な観察・判断・処置が実施できている	28	救急隊の救急救命士運用率	77.4	R2	92.6	R2	
	5	急性冠症候群及び脳卒中急性期医療を担う医療機関へ速やかに搬送できる	29	救急要請から(覚知)から救急医療機関への搬送までに要した時間	43.1	R3	42.8	R3	
			30	ヘリコプター等による離島救急搬送患者数	541	R3	—	—	
	6	急性冠症候群等の心血管疾患及び脳卒中の急性期医療に24時間対応できる体制が構築されている	31	脳卒中中学会専門医数	40	R5	—	—	
			32	脳神経外科医師数	6.6	R3	5.9	R3	*
			33	脳卒中の専用病室を有する病院数	0.2	R3	0.2	R3	*
			34	脳卒中の専用病室を有する病床数	1.7	R3	1.3	R3	*
			35	脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施可能な病院数	1.5	R3	0.8	R3	*
			36	経皮的選択的脳血栓、血栓溶解術(脳梗塞に対する血栓回収術)が実施可能な病院数	28	R4	—	—	
	○専門的医療提供体制の構築及び人材育成								
	7	24時間専門的治療が実施できる体制が整っている	37	脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施可能な病院数(再掲)	1.5	R3	0.8	R3	*
			38	経皮的選択的脳血栓、血栓溶解術(脳梗塞に対する血栓回収術)が実施可能な病院数(再掲)	28	R4	—	—	
	8	回復期の医療機関やリハビリテーション施設との円滑な連携体制が構築されている	39	「脳卒中」医療連携への参加医療機関数	496	R4	—	—	
	9	地域の保健医療福祉サービスとの連携が整備されている	40	認定看護師数(救急看護)	18	R5.12	1,141	R5.12	
		41	認定看護師数(集中ケア)	13	R5.12	978	R5.12		
		42	認定看護師数(脳卒中, 脳卒中リハビリテーション看護)	15	R5.12	804	R5.12		
10	離島・へき地の医療体制が整っている	43	へき地医療拠点病院の指定数	18	R4	—	—		
○在宅医療・リハビリテーションが可能な環境の整備									
11	在宅での療養支援体制が整っている	44	訪問診療を実施している診療所数・病院数	19.4	R4	21.9	H27	*	
		45	訪問看護ステーションに従事する看護師・准看護師数	895	R2	67,504	R2		
		46	訪問薬剤指導を実施する薬局数	25.8	R3	—	—	*	
12	誤嚥性肺炎等の合併症の予防及び治療が行える体制が整備されている	47	口腔機能管理を受ける医療機関数(急性期)	1	R4	—	—		
13	急性期から回復期, 生活期まで、切れ目のないリハビリテーション体制が整っている	48	リハビリテーションが実施可能な医療機関数(脳血管疾患)	9.9	R3	5.0	R3	*	
		49	地域リハビリテーション広域支援センターの指定機関数	16	R4	—	—		
		50	回復期リハビリテーション病床数(脳血管疾患)	2,034	R2	88,593	R2		
		51	理学療法士数	2,794.5	R2	102,761.8	R2		
		52	作業療法士数	1,351.5	R2	64,359.1	R2		
		53	言語聴覚士数	421.2	R2	22,342.8	R2		
		54	社会福祉士数(医療ソーシャルワーカー)専従	245	R3	10,428	R3		
		55	社会福祉士数(医療ソーシャルワーカー)専任	104	R3	4,940	R3		
		56	「脳卒中」医療連携への参加医療機関数(再掲)	496	R4	—	—		
3 循環器病 患者等を 支えるた めの環境 づくり	○循環器病に関する適切な情報提供・相談支援								
	14	かかりつけ薬剤師・薬局の薬学的管理・指導が可能な体制が構築されている	57	かかりつけ薬剤師指導料の届出薬局数	549	R5	—	—	
	15	相談支援体制等が整っている	58	県内の特定医療費(指定難病)助成の指定医療機関	2,386	R3	—	—	
			59	県内の小児慢性特定疾病医療費助成の指定医療機関	1,109	R4.3	—	—	
			60	脳卒中相談窓口の設置数	4	R4	—	—	
	○循環器病の後遺症を有する者に対する支援								
	16	生活機能の維持・向上のためのリハビリテーションが提供される体制が整備されている	61	訪問リハビリを提供している事業所数	1,512	R4.10	—	—	
			62	通所リハビリを提供している事業所数	365	R4.10	—	—	
			63	老人保健施設定員数	6,381	R4.10	—	—	
	17	在宅での療養支援体制が整っている(再掲)	64	訪問診療を実施している診療所数・病院数(再掲)	19.4	R4	21.9	H27	*
		65	訪問看護ステーションに従事する看護師・准看護師数(再掲)	895	R2	67,504	R2		
		66	訪問薬剤指導を実施する薬局数(再掲)	25.8	R3	—	—	*	
18	循環器病の後遺症に対する支援体制が整っている	67	介護支援専門員数	5,642	R5.3	—	—		
		68	相談支援事業所で従事する相談員数	—	—	—	—		
		69	高次脳機能障害者支援協力病院の指定数	34	R元.7	—	—		
○治療と仕事の両立支援・就労支援									
19	治療と仕事の両立支援・就労支援体制が整っている	70	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数	184	R4.3	12,087	R4.3		
		71	県高次脳機能障害者支援センターの相談件数	535	R3	—	—		

番号	中間アウトカム	中間アウトカム指標	現状値			
			鹿児島県		全国	

番号	分野アウトカム	分野アウトカム指標	現状値			
			鹿児島県		全国	

1	急性冠症候群等の心血管疾患及び脳卒中の発症を予防できる	1 脳血管疾患により救急搬送された患者数	3.8	R2	4.7	R2	*
		2 脳血管疾患の受療率(入院・外来)	146.0	R2	98.0	R2	*

2	急性冠症候群等の心血管疾患及び脳卒中の疑われる患者が、できるだけ早期に疾患に応じた専門的診療が可能な医療機関に到着できる	3 救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間	43.1	R3	42.8	R3	
		4 脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解法の実施件数	17.6	R3	11.4	R3	*
3	発症後早期に専門的な治療を開始し、心血管疾患リハビリテーション(心疾患)、リハビリテーション(脳卒中)及び心身の緩和ケア、再発予防の定期的専門的検査を受けることができる	5 脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収療養等)の実施件数	16.2	R3	13.9	R3	*
		6 くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数	5.7	R3	4.3	R3	*
		7 くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数	4.8	R3	4.6	R3	*
		8 脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数	223.3	R3	258.8	R3	*
		9 脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数	1,105.8	R3	742.2	R3	*
		10 脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実施件数	28.5	R3	31.9	R3	*
4	合併症や再発予防、在宅復帰のためのリハビリテーションと心身の緩和ケアを受けることができる	11 退院患者平均在院日数(再掲)	82.2	R2	79.2	R2	*
5	身体機能の早期改善のための集中的リハビリテーションを受けることができる	12 脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数(再掲)	223.3	R3	258.8	R3	*
		13 脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数(再掲)	1,105.8	R3	742.2	R3	*
		14 ADL改善率	64.0	R3	—	—	
		15 在宅等生活の場に復帰した患者の割合	53.0	R2	54.4	R2	*

1	脳卒中による死亡が減少している	脳血管疾患の年齢調整死亡率(男性)	100.0	R2	93.8	R2	*
		脳血管疾患の年齢調整死亡率(女性)	61.1	R2	56.4	R2	*
2	脳血管疾患患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができる	健康寿命(男性)	73.40	R元	72.68	R元	*
		健康寿命(女性)	76.23	R元	75.38	R元	*

6	日常生活の場で再発予防でき、生活機能維持・向上のためのリハビリテーション(脳卒中)及び心血管疾患リハビリテーション(心疾患)と心身の緩和ケアを受けることができ、合併症発症時には適切な対応を受けることができる	16 在宅等生活の場に復帰した患者の割合(再掲)	53.0	R2	54.4	R2	
		17 訪問看護利用者数	8,564	R2	848,317	R2	
		18 訪問リハビリを受ける利用者数	33,034	R3	1,468,991	R3	
		19 通所リハビリを受ける利用者数	211,445	R3	7,042,193	R3	
		20 脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数(再掲)	1,105.8	R3	742.2	R3	*
		21 脳卒中患者における地域連携計画等の実施件数	28.5	R3	31.9	R3	*

心血管疾患ロジックモデル

IV該当箇所	番号	初期アウトカム	初期アウトカム指標	*は人口10万人対換算 現状値				
				鹿児島県	全国			
1 循環器病予防 の取組の強化	○循環器病の予防や発症時の対応等に関する普及啓発							
	1	循環器病の予防や発症時の対応等に関する普及活動ができて いる	1	20歳以上の喫煙者の割合	12.9	R4	16.7	R元*
			2	禁煙外来を行っている医療機関数	12.9	R2	12.6	R2*
			3	ニコチン依存管理の実施件数	128.7	R2	131.6	R2*
			4	健診受診率	76.3	R元	73.3	R元*
			5	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上の者の割合	13.3	R4	14.9	R元*
			6	1日当たりの純アルコール摂取量が女性20g以上の者の割合	7.4	R4	9.1	R元*
			7	高血圧有病者の推定数(予備軍含む)40~74男性	237,400	R3	—	—
			8	高血圧有病者の推定数(予備軍含む)40~74女性	199,200	R3	—	—
			9	収縮期血圧の平均値 40~74男性(全国は40歳以上)	127.6	R4	133.9	R元
			10	収縮期血圧の平均値 40~74女性(全国は40歳以上)	122.6	R4	129.0	R元
			11	糖尿病が強く疑われる者(HbA1c6.5以上)の割合20歳以上男性	8.5	H29	—	—
			12	糖尿病が強く疑われる者(HbA1c6.5以上)の割合20歳以上女性	2.9	H29	—	—
			13	LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合 (40歳以上、内服加療中の者を含む、男性)(※年齢調整値)	8.1	H29	9.1	R元
			14	LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合 (40歳以上、内服加療中の者を含む、女性)(※年齢調整値)	8.7	H29	12.3	R元
			15	20~60歳代男性の肥満者の割合	36.0	R4	32.4	H28
			16	40~60歳代女性の肥満者の割合	23.6	R4	21.6	H28
			17	メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の推定数 (40~74歳男性)(※年齢調整値)	171,000	R2	—	—
			18	メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の推定数 (40~74歳女性)(※年齢調整値)	62,000	R2	—	—
			19	1日当たりの食塩摂取量の平均値	10.2	R4	10.1	R元
			20	1日当たりの野菜摂取量の平均値	271.4	R4	281	R元
			21	1日当たりの果物摂取量の平均値	93.3	R4	99	R元
			22	40歳以上における歯周炎を有する者の割合(年齢調整値)	68.4	R4	56.2	H28
			23	健康サポート薬局数	21	R5	—	—
			24	循環器病予防のための啓発活動を行っている市町村の割合	88.6	R4	—	—
	○特定健康診査、特定保健指導等の実施率を向上に向けた取組							
2	特定健康診査、特定保健指導等の実施率を向上させる	25	特定健康診査の実施率	52.0	R3	56.5	R3	
		26	特定保健指導の実施率	25.9	R3	24.6	R3	
2 鹿児島・へき地を 含めた循環器 病の医療、介護 及び福祉等に 係るサービスの 提供体制の 充実	○救急医療・救急搬送体制の整備							
	3	心肺停止が疑われる者に対してAEDの使用を含めた救急蘇 生法等の適切な処置を実施することができる	27	心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)全搬送人数のうち、一般市民により除 細動が実施された件数	0.5	R3	1.4	R3*
	4	救急救命士を含む救急隊員が、活動プロトコールに則し、適切 な観察・判断・処置が実施できている	28	救急隊の救急救命士運用率	77.4	R2	92.6	R2
	5	急性冠症候群及び脳卒中急性期医療を担う医療機関へ速や かに搬送できる	29	救急要請から(覚知)から救急医療機関への搬送までに要した時間	43.1	R3	42.8	R3
			30	ヘリコプター等による離島救急搬送患者数	541	R3	—	—
	6	急性冠症候群等の心血管疾患及び脳卒中の急性期医療に24 時間対応できる体制が構築されている	31	循環器内科医師数	13.7	R2	10.3	R2*
			32	心臓血管外科医師数	2.7	R2	2.5	R2*
			33	心臓内科系集中治療室(CCU)を有する病院数	0.1	R2	0.1	R2*
			34	心臓内科系集中治療室(CCU)を有する病院の病床数	0.9	R2	1.3	R2*
			35	心臓血管外科手術が実施可能な医療機関数	0.3	R3	0.3	R3
			36	冠動脈バイパス術が実施可能な医療機関数	6	R4	—	—
			37	経皮的冠動脈形成術が実施可能な医療機関数	24	R4	—	—
			38	大動脈瘤手術が可能な医療機関数	9	R4	—	—
	○専門的医療提供体制の構築及び人材育成							
	7	24時間専門的治療が実施できる体制が整っている	39	冠動脈バイパス術が実施可能な医療機関数(再掲)	6	R4	—	—
			40	経皮的冠動脈形成術が実施可能な医療機関数(再掲)	24	R4	—	—
			41	大動脈瘤手術が可能な医療機関数(再掲)	9	R4	—	—
	8	地域の保健医療福祉サービスとの連携が整備されている	42	認定看護師数(救急看護)	18	R5.12	1,141	R5.12
			43	認定看護師数(集中ケア)	13	R5.12	978	R5.12
	9	離島・へき地の医療体制が整っている	44	へき地医療拠点病院の指定数	18	R4	—	—
	○在宅医療・リハビリテーションが可能な環境の整備							
	10	在宅での療養支援体制が整っている	45	訪問診療を実施している診療所数・病院数	19.4	R4	21.9	H27*
			46	訪問看護ステーションに従事する看護師・准看護師数	895	R2	67,504	R2
			47	訪問薬剤指導を実施する薬局数	25.8	R3	—	—
	11	急性期から回復期、生活期まで、切れ目のないリハビリテ ーション体制が整っている	48	リハビリテーションが実施可能な医療機関数(心血管疾患)	16.0	R3	6.2	R3*
			49	地域リハビリテーション広域支援センターの指定機関数	16	R4	—	—
50			回復期リハビリテーション病床数(心血管疾患)	1,793	R2	64,964	R2	
51			理学療法士数	2,794.5	R2	102,761.8	R2	
52			作業療法士数	1,351.5	R2	64,359.1	R2	
53			言語聴覚士数	421.2	R2	22,342.8	R2	
54			社会福祉士数(医療ソーシャルワーカー)専従	245	R3	10,428	R3	
55			社会福祉士数(医療ソーシャルワーカー)専任	104	R3	4,940	R3	
56			PCI(経皮的冠動脈インターベンション)の実施件数	194.2	R元	167.1	R元	
57			「心血管疾患」医療連携への参加医療機関数	509	R4	—	—	
3 循環器病患者 等を支えるた めの環境づく り	○循環器病に関する適切な情報提供・相談支援							
	12	かかりつけ薬剤師・薬局の薬学的管理・指導が可能な体制が構 築されている	58	かかりつけ薬剤師指導料の届出薬局数	549	R5	—	—
	13	相談支援体制等が整っている	59	県内の特定医療費(指定難病)助成の指定医療機関	2,386	R3	—	—
			60	県内の小児慢性特定疾病医療費助成の指定医療機関	1,109	R4.3	—	—
	○循環器病の後遺症を有する者に対する支援							
	14	生活機能の維持・向上のためのリハビリテーションが提供され る体制が整備されている	61	訪問リハビリを提供している事業所数	1,512	R4.10	—	—
	15	在宅での療養支援体制が整っている(再掲)	62	訪問診療を実施している診療所数・病院数(再掲)	19.4	R4	21.9	H27*
			63	訪問看護ステーションに従事する看護師・准看護師数(再掲)	895	R2	67,504	R2
			64	訪問薬剤指導を実施する薬局数(再掲)	25.8	R2	—	—
			65	介護支援専門員数	5,642	R5.3	—	—
16	循環器病の後遺症に対する支援体制が整っている	66	相談支援事業所で従事する相談員数	—	—	—	—	
		67	高次脳機能障害者支援協力病院の指定数	34	R元.7	—	—	
○治療と仕事の両立支援・就労支援								
17	治療と仕事の両立支援・就労支援体制が整っている	68	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数	184	R4.3	12,087	R4.3	
		69	県高次脳機能障害者支援センターの相談件数	535	R3	—	—	
		70	産業保健センターの両立支援件数	24	R4	—	—	
		71	ハローワークの就労支援件数	71	R3	—	—	

番号	中間アウトカム	中間アウトカム指標	現状値			
			鹿児島県		全国	

番号	分野アウトカム	分野アウトカム指標	現状値			
			鹿児島県		全国	

1	急性冠症候群等の心血管疾患の発症を予防できる	1	虚血性心疾患により救急搬送された患者数	0.7	R2	0.6	R2	*
		2	虚血性心疾患受療率	57	R2	51	R2	*

2	急性冠症候群等の心血管疾患及び脳卒中の疑われる患者が、できるだけ早期に疾患に応じた専門的診療が可能な医療機関に到着できる	3	救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間	43.1	R3	42.8	R3	
		4	心疾患による救急搬送患者の初発時の死亡数	-	-	-	-	
3	発症後早期に専門的な治療を開始し、心血管疾患リハビリテーション(心疾患)、リハビリテーション(脳卒中)及び心身の緩和ケア、再発予防の定期的専門的検査を受けることができる	5	来院後90分以内の冠動脈再開通達成率	33.3	R2	25.5	R2	*
		6	急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベンションの実施件数	192.9	R2	167.2	R2	*
		7	虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術件数	13.5	R2	10.9	R2	*
		8	入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数	255.1	R2	182.1	R2	*
		9	虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数	1.3	R3	3.6	R3	*
		10	虚血性心疾患の退院患者平均在院日数	7.1	R2	12.4	R2	*
4	合併症や再発予防、在宅復帰のためのリハビリテーションと心身の緩和ケアを受けることができる	11	入院心血管疾患リハビリテーション実施件数(再掲)	255.1	R2	182.1	R2	*
		12	外来心血管疾患リハビリテーション実施件数	131.3	R2	144.7	R2	*
		13	虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数(再掲)	1.3	R3	3.6	R3	*
		14	虚血性心疾患の退院患者平均在院日数(再掲)	7.1	R2	12.4	R2	*

1	心血管疾患による死亡が減少している	心疾患の年齢調整死亡率(男性)	180.2	R2	190.1	R2	*
		心疾患の年齢調整死亡率(女性)	116.4	R2	109.2	R2	*
		虚血性心疾患の年齢調整死亡率(男性)	59.8	R2	73.0	R2	*
		虚血性心疾患の年齢調整死亡率(女性)	30.7	R2	30.2	R2	*
2	心疾患患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができている	健康寿命(男性)	73.40	R元	72.68	R元	*
		健康寿命(女性)	76.23	R元	75.38	R元	*

5	日常生活の場で再発予防でき、生活機能維持・向上のためのリハビリテーション(脳卒中)及び心血管疾患リハビリテーション(心疾患)と心身の緩和ケアを受けることができ、合併症発症時には適切な対応を受けることができる	15	在宅等生活の場に復帰した患者の割合	91.9	R2	92.3	R2	
		16	外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数(再掲)	131.3	R2	144.7	R2	*
		17	虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数(再掲)	1.3	R3	3.6	R3	*
		18	訪問看護利用者数	8,564	R2	848,317	R2	

参考指標

【指標分類欄凡例】

S : ストラクチャー指標

P : プロセス指標

O : アウトカム指標

- ・表中、「-」は数値データがないもの。
- ・表中、「*」はNDBから得られる数値で、「レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するガイドライン」に準じたマスク処理がなされているもので、集計単位、集計項目ごとに秘匿値が設定されているもの。

脳卒中

指標分類	指標名	重要指標：○ 参考指標：○ その他：△	鹿児島 医療圏	南薩 医療圏	川薩 医療圏	出水 医療圏	始良・伊佐 医療圏	曾於 医療圏	肝属 医療圏	熊毛 医療圏	奄美 医療圏	県計	全国計
S	禁煙外来を行っている一般診療所数	○	74	11	9	9	28	6	12	1	13	163	13,577
	人口10万人対		10.8	8.4	7.7	10.7	11.7	7.5	7.8	2.4	11.9	10.0	10.6
S	禁煙外来を行っている病院数	○	19	3	4	1	9	2	2	2	6	48	2,529
	人口10万人対		2.8	2.3	3.4	1.1	3.8	2.5	1.3	4.8	5.4	2.9	2.0
P	喫煙率（男性）	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.2	28.8
	喫煙率（女性）	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.9	8.8
P	健康診断の受診率（%）	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	49.7	53.1
P	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率（%）	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	255.5	215.3
P	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46.4	67.7
P	救急要請（寛知）から救急医療機関への搬送までに要した平均時間（分）	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43.1	42.8
S	脳血管疾患により救急搬送された患者数（0.1千人）	○	1.1	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	219.5
	人口10万人対		0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1
S	脳神経内科医師数	◎	97	6	7	2	9	2	6	0	4	133	5,758
	人口10万人対		14.2	4.6	6.0	2.3	3.7	2.5	3.9	0.0	3.6	8.1	4.5
S	脳神経外科医師数	◎	61	6	4	4	17	2	13	1	1	109	7,528
	人口10万人対		8.9	4.6	3.4	4.7	7.1	2.5	8.4	2.4	0.9	6.6	5.8
S	救命救急センターを有する病院数	◎	2	—	—	—	—	—	—	—	1	3	292
	人口10万人対		0.3	—	—	—	—	—	—	—	1.0	0.2	0.2
S	脳卒中の専用病室を有する病院数	◎	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	193
	人口10万人対		0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	0.1
S	脳卒中の専用病室を有する病院の病床数	◎	28	—	—	—	—	—	—	—	—	28	1,577
	人口10万人対		4.1	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7	1.2
S	脳卒中ケアユニットを有する病院数	◎	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	201
	人口10万人対		0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	0.1
S	脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施可能な病院数	◎	11	0	*	*	5	*	4	*	*	20	984
	人口10万人対		1.6	0	*	*	2.1	*	3	*	*	1.4	0.7
S	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）届出施設数	◎	33	8	5	6	17	—	7	—	5	81	3,009
	人口10万人対		4.8	6.1	4.3	7.1	7.1	—	4.5	—	4.5	4.9	2.3
S	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）届出施設数	◎	28	11	5	*	6	7	4	*	4	65	1,966
	人口10万人対		4.1	8.4	4.3	*	2.5	8.8	2.6	*	3.6	3.9	1.4
S	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）届出施設数	◎	27	8	4	0	8	4	5	*	7	63	1,537
	人口10万人対		3.9	6.1	3.4	0.0	3.3	5.0	3.2	*	6.4	3.8	1.2
P	ニコチン依存管理料を算定する患者数（医療機関数）	△	81	11	15	8	24	5	14	4	15	177	13,461
	（算定回数）		886	132	247	144	233	72	172	79	133	2,098	167,255
	（レセプト件数）		671	104	182	96	182	50	130	62	105	1,582	126,101
	人口10万人対		11.9	8.6	13.1	9.6	10.1	6.3	9.2	9.8	13.9	10.9	10.6

脳卒中

指標分類	指標名	重要指標：○ 参考指標：○ その他：△	鹿児島医療圏	南薩医療圏	川薩医療圏	出水医療圏	始良・伊佐医療圏	曾於医療圏	肝属医療圏	熊毛医療圏	奄美医療圏	県計	全国計
P	脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法適用患者への同療法実施件数(医療機関数)	◎	11	0	*	*	5	*	4	*	*	20	1,007
	(算定回数)		244	0	29	29	21	*	20	*	31	374	16,923
	(レセプト件数)		183	0	19	27	18	*	19	*	19	285	14,451
	人口10万人対		1.6	0.0	*	*	2.1	*	2.6	*	*	1.2	0.7
P	脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施件数(医療機関数)	△	8	*	*	*	*	*	3	*	*	11	600
	(算定回数)		126	*	26	*	*	13	22	*	11	198	16,166
	(レセプト件数)		126	*	24	*	*	13	22	*	11	196	15,998
	人口10万人当たり		1.1	*	*	*	*	*	1.9	*	*	0.6	0.4
P	くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数(医療機関数)	○	7	*	*	*	4	*	3	0	*	14	674
	(算定回数)		63	*	*	*	*	*	18	0	11	92	6,778
	(レセプト件数)		57	*	*	*	*	*	17	0	10	84	6,722
	人口10万人対		1.0	*	*	*	1.6	*	1.9	0.0	*	0.8	0.5
P	くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数(医療機関数)	○	7	*	*	*	*	*	*	*	*	7	550
	(算定回数)		78	*	*	*	*	*	*	*	*	78	5,831
	(レセプト件数)		78	*	*	*	*	*	*	*	*	78	5,765
	人口10万人対		1.0	*	*	*	*	*	*	*	*	0.4	0.4
P	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数(医療機関数)	△	69	20	9	5	22	9	11	3	14	162	6,387
	(算定回数)		788,136	111,328	102,240	67,408	241,148	16,806	180,919	38,867	47,658	1,594,510	77,769,424
	(レセプト件数)		8,705	1,086	1,088	845	2,400	344	1,912	402	1,108	17,890	940,007
	人口10万人対		10.1	15.3	7.7	5.9	9.2	11.3	7.1	7.3	12.8	9.9	5.0
P	脳卒中患者における地域連携計画作成等の実施件数(医療機関数)	○	5	0	0	0	*	*	*	0	0	5	716
	(算定回数)		446	0	0	0	0	*	*	0	0	265	40,465
	(レセプト件数)		446	0	0	0	0	*	*	0	0	265	40,459
	人口10万人対		0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5
P	地域連携クリティカルパスに基づく診療計画作成等の実施件数(算定回数)	○	638	0	185	12	0	0	106	0	0	941	50,278
	(レセプト件数)		638	0	185	12	0	0	106	0	0	941	50,267
	人口10万人対		92.5	0.0	152.2	13.5	0.0	0.0	65.5	0.0	0.0	36.0	34.9
O	在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者数(0.1千人)	○	1.8	0.6	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.7	5.1	306.6
O	脳血管疾患患者数(0.1千人)	△	3.7	0.8	0.7	0.5	1.6	0.0	0.9	0.0	1.1	9.7	555.7
O	在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	△	49.3	68.6	36.3	48.1	52.9	63.9	54.5	55.6	63.7	53.0	54.4
O	脳血管疾患退院患者平均在院日数	◎	54.5	58.4	142.6	56.5	150.4	51.8	50.7	70.3	104.8	82.2	79.1
O	脳血管疾患による年齢調整死亡率(男性)	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	101.5	99.5
O	脳血管疾患による年齢調整死亡率(女性)	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60.8	58.1

心筋梗塞等の心血管疾患

指標分類	指標名	重要指標：○ 参考指標：○ その他：△	鹿児島	南薩	川薩	出水	指原・伊佐	曾於	肝属	熊毛	奄美	県計	全国計
			医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏		
P	健康診断の受診率 (%)	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76.3	73.3
P	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率 (%)	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	255.5	215.3
P	救急要請（覚知）から救急医療機関への搬送までに要した平均時間（分）	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43.1	42.8
S	禁煙外来を行っている一般診療所数	◎	74	11	9	9	28	6	12	1	13	163	13,577
	人口10万人対		10.8	8.4	7.7	10.7	11.7	7.5	7.8	2.4	11.9	10.0	10.6
S	禁煙外来を行っている病院数	◎	19	3	4	1	9	2	2	2	6	48	2,529
	人口10万人対		2.8	2.3	3.4	1.1	3.8	2.5	1.3	4.8	5.4	2.9	2.0
P	ニコチン依存管理料を算定する患者数（医療機関数）	○	81	11	15	8	24	5	14	4	15	177	13,461
	（算定回数）		886	132	247	144	233	72	172	79	133	2,098	167,255
	（レセプト件数）		671	104	182	96	182	50	130	62	105	1,582	126,101
	人口10万人対		11.9	8.6	13.1	9.6	10.1	6.3	9.2	9.8	13.9	10.9	10.6
P	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46.4	67.7
P	喫煙率（男性）	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.2	28.8
	喫煙率（女性）		—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.9	8.8
S	虚血性心疾患により救急搬送された患者数	◎	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0.7	—
	人口10万人対		0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—
P	心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	1,719
S	循環器内科医師数	◎	114	15	16	7	13	2	15	1	6	189	13,026
	人口10万人対		20.3	12.5	15.7	9.6	5.4	2.5	13.8	2.4	4.6	13.7	10.2
S	心臓血管外科医師数	◎	38	—	—	—	1	—	5	—	—	44	3,222
	人口10万人対		5.5	—	—	—	0.4	—	3.2	—	—	2.7	2.5
S	救命救急センターを有する病院数	◎	2	—	—	—	—	—	—	—	1	3	292
	人口10万人対		0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	0.2
S	心筋梗塞の専用病室（CCU）を有する病院数	◎	1	—	—	—	—	—	1	—	—	2	258
	人口10万人対		0.1	—	—	—	—	—	0.6	—	—	0.1	0.2
S	心筋梗塞の専用病室（CCU）を有する病院の病床数	◎	12	—	—	—	—	—	2	—	—	14	1,584
	人口10万人対		1.7	—	—	—	—	—	1.3	—	—	0.8	1.2
S	大動脈バルーンパンピング法が実施可能な病院数	◎	11	3	2	2	3	0	5	1	4	31	—
	人口10万人対		1.6	2.3	1.8	2.4	1.3	0.0	3.3	2.5	3.7	1.9	—
S	心臓血管外科手術が実施可能な医療機関数（医療機関数）	△	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	*	0.0	0.0	5.0	378.0
	人口10万人対		0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	*	0.0	0.0	0.3	0.3
S	心大血管リハビリテーション料（I）届出施設数	◎	16	3	1	2	3	0	4	0	1	30	1,303
	人口10万人対		2.3	2.3	0.8	2.4	1.2	0.0	2.6	0.0	0.9	1.8	1.1

心筋梗塞等の心血管疾患

指標分類	指標名	重要指標：○ 参考指標：○ その他：△	鹿児島	南薩	川薩	出水	指原・伊佐	曾於	肝属	熊毛	奄美	県計	全国計
			医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏		
S	心大血管リハビリテーション料 (Ⅱ)届出施設数	◎	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	132
	人口10万人対		0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
P	入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数(医療機関数)	△	16	*	*	*	3	0	3	0	*	22	1,119
	(算定回数)		32,983	3,278	2,525	3,658	11,014	0	16,131	0	960	71,921	3,363,642
	(レセプト件数)		2,104	269	99	245	489	0	953	0	87	4,246	231,547
	人口10万人対		2.3	*	*	*	1.2	0.0	1.9	0.0	*	1.3	0.8
P	外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数(医療機関数)	△	8	*	0	*	3	0	*	0	0	11	841
	(算定回数)		11,695	1,292	0	2,417	5,906	0	46	0	0	71,921	1,526,943
	(レセプト件数)		1,286	90	0	254	510	0	*	0	0	2,140	183,903
	人口10万人対		210.0	136.1	0.0	79.0	151.6	0.0	56.6	0.0	0.0	0.6	0.6
P	心筋梗塞に対する冠動脈再開通件数(医療機関数)	◎	7	*	*	*	*	0	4	*	3	14	1,077
	(算定回数)		442	50	42	64	57	0	84	*	37	776	52,927
	(レセプト件数)		440	50	42	62	57	0	84	*	37	772	50,842
	人口10万人対		1.0	*	*	*	*	0.0	2.6	*	2.7	0.8	0.8
P	心筋梗塞に対する来院後90分以内冠動脈再開通件数(医療機関数)	◎	7	*	*	*	*	0	4	*	3	14	1,015
	(算定回数)		326	38	26	36	31	0	61	0	24	542	32,352
	(レセプト件数)		326	38	26	36	31	0	61	0	24	542	31,132
	人口10万人対		1.0	*	*	*	*	0.0	2.6	*	2.7	0.8	0.8
P	虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術件数	○	184	0	0	0	0	0	36	0	0	220	13,915
	(レセプト件数)		184	0	0	0	0	0	36	0	0	220	13,900
	人口10万人対		27.5	0	0	0	0	0	23.7	0	0	13.6	10.9
P	虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数(医療機関数)	○	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	453
	(算定回数)		21	0	0	0	0	0	0	0	0	21	2,767
	(レセプト件数)		21	0	0	0	0	0	0	0	0	21	2,767
	人口10万人対		0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
O	虚血性心疾患の退院患者平均在院日数	◎	6.2	6.9	4.0	3.4	6.7	1.0	7.1	3.8	18.9	7.1	12.4
O	在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合(0.1千人)	◎	2.9	0.0	0.0	0.7	0.6	—	1.3	0.0	0.0	6.8	9.8
	虚血性心疾患患者の割合(0.1千人)		3.1	0.0	0.0	0.8	0.7	0.0	1.4	0.0	0.0	7.4	10.4
	割合		92.9	82.3	86.9	93.7	84.4	—	96.4	84.6	91.2	91.3	93.5
O	心疾患患者の年齢調整死亡率(男性)	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	183.1	207.7
	心疾患患者の年齢調整死亡率(女性)	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	116.1	120.7

本計画における用語集

用語	解説
鹿児島CCUネットワーク	鹿児島市及び鹿児島市周辺の心臓救急医療体制の確保を目的とした、鹿児島市内の循環器系の診療科を有する6医療機関の輪番制による24時間の診療体制。 (参加医療機関)鹿児島大学病院心臓血管内科、国立病院機構鹿児島医療センター、鹿児島市立病院、鹿児島市医師会、中央病院、総合病院鹿児島生協病院
虚血性心疾患	動脈硬化の進行で冠動脈が狭窄し、心臓への血液の巡りが悪くなり、つまったりして起こる心疾患の総称。
人口動態統計	出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の人口動態事象を把握するための、統計法に基づく基幹統計。
年齢調整死亡率	厚生労働省では、人口動態統計における年齢調整死亡率の算出にあたっては、平成2年から昭和60年モデル人口(昭和60年の国勢調査人口を基に補正した人口)を使用していたが、モデル人口が現実の人口構成と異なってきたことから、令和2年から平成27年モデル人口(平成27年の国勢調査人口を基に補正した人口)を使用することとしている。図表の平成22年までは、昭和60年モデル人口を使用している。
二次保健医療圏	保健医療資源の効率的かつ適正な配置による有効活用を図り、県民が保健医療サービスが受けられる保健医療提供体制の構築を図る地域的単位のうち、高度・特殊な医療を除く一般的な入院医療サービス等の提供が可能な圏域
SMR(標準化死亡比)	全国の年齢構成ごとの死亡率を本県の人口構成に当てはめて算出した期待死亡数と実際の死亡数を比較するもの。全国を100とし、100を超えれば死亡率が高い、小さければ低いと判断される。 $\text{標準化死亡比 (SMR)} = \frac{\text{観察集団の死亡数}}{(\text{基準集団の年齢階級別死亡率} \times \text{観察集団の年齢階級別人口}) \text{の各年齢階級の合計}} \times 100$
健康寿命	心身ともに自立した活動的な状態で生存できる期間。
平均寿命	0歳の者が生存する年数の平均。
特定健康診査	40歳以上74歳以下の者に実施する高血圧症、脂質異常症、糖尿病その他の内臓脂肪の蓄積に起因する生活習慣病に関する健康診査
特定保健指導	特定健康診査の結果、健康の保持に努める必要がある者に対して実施する保健指導
メディカルコントロール	救急現場から医療機関へ搬送されるまでの間において、医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置の質を保証するために、救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言体制の充実、救急活動の医学的観点からの事後検証体制の充実、救急救命士の病院実習等の再教育体制の充実等を整備していくシステムのこと。
t-PA療法	tissue-plasminogen activator療法の略称。 血栓溶解療法といい、脳の血管に詰まった血栓を溶かす薬を使い、血流を回復させる治療法であり、平成17年に脳梗塞への健康保険適用が認められた。
PSC	Primary Stroke Centerの略称。 日本脳卒中学会が認定している、一次脳卒中センターを指す。
5疾病	がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患
5事業	救急医療、災害医療、離島・へき地医療、周産期医療、小児・小児救急医療
地域連携クリティカルパス	急性期病院から回復期病院を経て早期に自宅に帰れるような診療計画を作成し、治療を受ける全ての医療機関で共有しているもの。
PSC	Primary Stroke Centerの略称。 日本脳卒中学会が認定している、一次脳卒中センターを指す。
PCI	percutaneous coronary intervention(経皮的冠動脈形成術)の略
小児慢性特定疾病	児童又は児童以外の満20歳に満たない者が当該疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とし、その生命に危険が及ぶおそれがあるものであって、療養のために多額の費用を要するものとして厚生労働大臣が社会保障審議会の意見を聴いて定める疾病。
服薬アドヒアランス	患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って薬を用いた治療を受けること。

鹿児島県循環器病対策推進協議会設置要綱

(設置)

第1条 「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」(平成30年法律第105号)第11条に規定する都道府県計画である「鹿児島県循環器病対策推進計画」(以下「計画」という。)の策定等に関し、必要な事項を検討するため、「鹿児島県循環器病対策推進協議会」(以下「協議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) その他循環器病対策の推進に関すること。

(組織等)

第3条 協議会は、くらし保健福祉部長が委嘱する委員をもって構成する。

2 協議会に会長、副会長を置く。

3 会長は、委員の中から互選するものとし、副会長は会長が指名するものとする。

4 会長は、協議会の会務を総理し、会議の議長となる。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、3年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 協議会は、必要に応じて会長が招集する。

2 会長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(部会の設置)

第6条 協議会は、部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、当該部会に属する委員の互選により選任する。

4 部会長は、当該部会の事務を掌理する。

5 部会長に事故があるときは、当該部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する者が、その職務を代理する。

6 部会長は、必要があると認めたときは、部会委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、鹿児島県くらし保健福祉部健康増進課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、令和3年7月13日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年2月13日から施行する。

循環器病対策推進協議会委員名簿

(令和6年3月15日現在)

氏名	所属・役職
あいほし そうご 相星 壮吾	鹿児島県保健所長会 名瀬保健所長
い こま なりとし 生駒 成亨	一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会 理事
い ぢ ち ひろし 伊地知 博史	公益社団法人 鹿児島県歯科医師会 会長
い わもと のぶひで 岩元 暢秀	公益社団法人 鹿児島県薬剤師会 専務理事
おおいし みつる 大石 充	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学 教授
かきはな やすゆき 垣花 泰之	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 救急・集中医療医学 教授
かみの その あやみ 上之園 綾美	心疾患経験者
かわかみ まさと 川上 真人	鹿児島県消防長会 会長
く ぼ かつゆき 久保 克之	脳血管疾患経験者
しもどうその めぐみ 下堂園 恵	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 リハビリテーション医学 教授
そ が よしはる 曽我 欣治	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管外科学 教授
ときむら ひろし 時村 洋	鹿児島市立病院 副院長・脳神経外科部長・脳卒中センター長
なかしま ひとし 中島 均	公益社団法人 鹿児島県医師会 常任理事
のむら みずほ 野村 瑞穂	鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会 鹿児島大学病院 ソーシャルワーカー
はなや りょうすけ 花谷 亮典	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科学 教授
はやし けいこ 林 恵子	公益社団法人 鹿児島県看護協会 常任理事
ほしの やすひろ 星野 泰啓	鹿児島県地域包括・在宅介護支援 センター協議会 理事
まつおか ひでき 松岡 秀樹	公益社団法人日本脳卒中協会 鹿児島県支部 支部長
まつした つよし 松下 剛	鹿児島県消防長会 会長
みなみ あきこ 南 明子	肝属・曾於地域保健活動連絡協議会 循環器疾患等部会 保健師
よしはら ひであき 吉原 秀明	鹿児島県救急業務高度化協議会 会長

(五十音順・敬称略)